

## 薬害教育教材に関するアンケート調査(平成 28 年度)の結果について

### 1 目的

中学 3 年生を対象とした薬害教育教材「薬害を学ぼう」について、教材のより有効な活用方法等の検討につなげるため、教育現場での使用状況、問題点等を把握する。

### 2 調査対象

全国の中学校 (11,068 か所)

### 3 調査内容

- (1) 使用状況 (教科、取り上げた単元)
- (2) 教材の発送時期 (適否、その理由)
- (3) 指導の手引きについて
- (4) 視聴覚教材について
- (5) 教材等への感想・意見、教材の活用方法・工夫等

### 4 調査方法

以下の手順により、事務局において調査を実施。

- ① 平成 28 年度分の教材の発送時 (平成 28 年 4 月 28 日) にアンケート用紙を同梱し、中学校において必要事項を記載するよう依頼。
- ② 中学校から事務局あてに返送。(返送期限：平成 28 年 8 月 31 日)

### 5 調査結果の概要

- (1) 回収率 8.1% (897 か所)

※ 平成 26 年度：11.4% (1,269 か所)

平成 27 年度：15.3% (1,703 か所)

- (2) 結果の概要 別紙のとおり。

## 調査結果の概要

## 1 調査結果一覧

	質問内容	主な結果	合計
問 1	使用状況(予定含む) 【注1】下線部は平成 28 年度 矢印の右側は平成 27 年度(以下同じ) 【注2】このほか、未記載 4 件、その他 2 件がある	①授業で使用(予定): <u>408(45.5%)</u> ← 754(44.3%) ②配布(予定): <u>439(48.9%)</u> ← 866(50.9%) ③使用・配布の予定はない: <u>44(4.9%)</u> ← 63(3.7%)	897
	(1)教科	①社会科: <u>246(58.6%)</u> ← 489(62.2%) ②保健体育科: <u>125(29.8%)</u> ← 232(29.5%) ③総合的な学習の時間: <u>31(7.4%)</u> ← 40(5.0%) ④その他: <u>26(6.2%)</u> ← 52(6.6%) (※複数回答あり)	420 【複数回答】
	(1)-2 取り上げた単元 (自由記述)	「人権」 <u>180</u> ← 368 「消費者の保護」 <u>84</u> ← 156 「公害」 <u>69</u> ← 116 「医薬品の適正使用」 <u>111</u> ← 156 「エイズ・感染症の予防」 <u>48</u> ← 125 「薬物乱用」 <u>75</u> ← 140 その他 <u>19</u> 件 (主な内訳)福祉関係 <u>3</u> 、裁判関係 <u>5</u> 薬・健康 <u>3</u> 、企業倫理 <u>1</u> (※複数回答あり)	424 【複数回答】
問 2	教材の発送時期 (平成 28 年度当初に発送)	①ちょうどよい: <u>666(74.3%)</u> ← 1,322(77.6%) ②早すぎる: <u>189(21.1%)</u> ← 313(18.4%) ③遅すぎる: <u>11(1.2%)</u> ← 11(0.6%) ④未記載等: <u>31(3.5%)</u>	897
	早すぎる又は遅すぎると回答した場合の理由と時期の内容 (自由記述)	(主な意見) 【早すぎる】 ・ 4 月は多くのものが送られてきて処理が大変である。 ・ 新年度が始まって間もなくの時期なので、担当教科や担当学年の教員の異動などがあった場合、混乱するから。 ・ 社会科や保健体育で扱う単元は、もう少し遅い時期となっているため。 ・ 授業が年度後半にあるので、管理が大変。 【遅すぎる】 ・ 前年度末の方が計画を立てやすい。	203

	質問内容	主な結果	合計
問 3	指導の手引きについて	①内容が適切: 609 (67.9%) ②内容が難解: 63 (7.0%) ③内容がやさしすぎる: 1 (0.1%) ④使っていない 184 (20.5%) ⑤その他 26 (2.9%) ⑥未記載等 13 (1.5%)	897
	「②内容が難解」、「③内容がやさしすぎる」、「④使っていない」又は「⑤その他」の場合の改善点等の内容 (自由記述)	(主な意見) <b>【内容が難解】</b> ・ 読み解くための十分な時間がとれない。 ・ 授業で活用しにくい。 ・ パンフレットもそうなのですが、文字が多いと感じる。視覚的に分かりやすく作ってほしい。(図やグラフの多用など) ・ 言葉が難しい。 ・ もう少し内容をしぼって記事をもう少し少なくしてくれた方が良いように思います。 ・ 各教科や単元での使用例(授業展開例)を具体的に示してほしい。(具体的にどう使っているのかわかりにくい) <b>【内容がやさしすぎる】</b> — <b>【使っていない】</b> ・ 指導計画の中に薬害教育を今年度は入れていない為 ・ 配布のみのため使用しませんでした。 ・ 指導する時間が確保できない。 ・ 「薬害」について生徒の現生活において関連が薄すぎる。この部分だけ取って教材として使用するの難しい。 <b>【その他】</b> ・ 生徒用のワークシートがあるとよいと思います。 ・ 内容が繰り返しになっているのもう少し精選されると良いと思う。	192

	質問内容	主な結果	合計
問 4	視聴覚教材について	①授業等で使用(予定):161(18.0%) ②使用の予定はない:706(78.7%) ③未記載等:30(3.3%)	897
	「①授業等で使用(予定)」の場合の使用用途、使用した感想、改善点等の内容	(主な意見) ・ 文章、文字で書いてあるよりも画像や動画を見た方が生徒に理解しやすい。 ・ 内容が時間的に長い。 ・ もう少し、かみくだいたような内容であれば理解も容易かと。 ・ 教員の指導力向上も含めて、使用予定。 ・ パンフレットと内容が全く同じだと、使いづらいと思います。 ・ 導入として使用予定。	122
問 5	授業での活用方法、工夫した点等(自由記述)	※ 下記2を参照	232

## 2 教材や活用の手引についての感想・意見、授業での活用方法・工夫、活用に当たったの問題点(主な記述)

### ➤ 授業の中で活用(副教材、参考資料等として)

#### (1) 社会(公民的分野)で活用

- ① 公民で使用しなくても、歴史と現代史でも活用できると思う。
- ② 消費者保護の学習が二学期なので、二学期に活用したいと考えている。視聴覚教材があるのはとてもありがたい。
- ③ 人権の問題提起としてよい。
- ④ 3年公民の授業で、人権の学習で活用します。この資料をもとに、人権問題を追及し、全国人権作文コンクールにチャレンジさせる予定である。

#### (2) 保健体育で活用

- ① 薬剤師の先生に来ていただいて実施する授業の資料の1つとして使用する。
- ② 保健、医療機関と医薬品、感染症とその予防の項目で保健の授業を使って今後、行う予定である。
- ③ ドラッグストア普及により、薬と向き合うことが多くなった今日、医療費の無料化等もあり、正しい使い方や処方個人差など学べることができる。

#### (3) その他の授業等で活用

- ① 体育館で、プロジェクターで映し、学年一斉に視聴の予定。10月に福祉体験実習を行うので、その事前学習の中の1つとして使用する。

- ② 毎年、このテキストを使用し、薬の教室を実施しています。良いテキストと思っている。社会科の教員とコラボした形でセルフメディケーションについて、10月の薬の週間の時に学習をしている。

➤ **薬物乱用防止等と併せて活用**

- ① 薬物乱用防止の学習と同時に指導した。後日、視聴覚教材を生徒に視聴させる予定である。
- ② 薬物乱用教室、お薬教室と関連させて実施することでより理解が深まると考える。パンフレット配布は手元に残る資料としての役目を十分に果たしている。

➤ **時間がない**

- ① 学習指導要領の改訂に伴い、学習内容が増えてきたため、細かい点を扱えなくなりつつある現状がある。
- ② 時間的な制約の中で、すべてを学習することはできません。教師側の知識が乏しいため浅い内容で終わっているのが現状である。
- ③ このような資料を使って時間的余裕がないのが実情である。多少説明を加えて配布する程度の扱いである。

➤ **内容が難しい**

- ① もう少し内容が平易であれば、さらに分かりやすくなると思われる。
- ② 教科書通り進めるとあまり薬害に触れる場面がない。手引きは、内容が難しいし、あまり使えないと担当職員に確認した。

➤ **資料の構成等について**

- ① ワークシートやプリントなどを付けて頂けるとさらに学習が深まるのではと思う。
- ② DVDには、手引きテキストの内容を補足するような映像資料が豊富に入っている方がありがたい。
- ③ 内容としてとても大切なことだと思います。パンフレットの表紙の子どもの写真（手の変形あり）がもう少し小さくてもよいと思います。表紙の印象だけが残るといけないので……
- ④ 文章だけだとイメージできないと思い、こちらで自作のイラストまんがを作った。内容はとてもよかったのでまとめ方レイアウトがもう少し見やすいと本校の生徒にはよかったと感じた。
- ⑤ できれば視聴覚教材はDVD等にして配布していただけると、使用しやすい。
- ⑥ 授業で使用した為、子供の感想を書いたり、重要語句を穴埋めにするなどすると、読むだけでなく、一層活用できる。

➤ **その他**

- ① 生徒たちは、薬害の存在を知り、驚いたと同時にあってはならない事と感じていました。薬や病気の名前が難しいので、理解に時間がかかった。
- ② 授業でとりあげる際に、指導の手引きがあり、展開がスムーズにいき、とても活用しやすかった。もっと早い段階（中学1年次など）で学んでもよいのではと感じた。



返信先 F A X 番号 : 0 3 - 3 5 0 1 - 2 0 5 2

別添

あて先 : 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課医薬品副作用被害対策室 行き

各中学校 ご担当者 様

《 薬害教育テキスト「薬害を学ぼう」に関するアンケート 》

- 平成29年度(中学3年生)用のテキスト「薬害を学ぼう」について、以下の質問にお答えください。(該当する番号に○をつけ、空欄には自由にご記入ください。)アンケート結果は、今後の教材作成に役立てるため、▲月▲日(▲)までにFAXでご回答いただきますようご協力をお願いします。

1 使用状況・予定

- ① 授業等で使用した(又は使用予定) ② 授業以外で、配布のみ行った(又は配布予定)  
③ 使用・配布の予定はない

1-1 「①授業等で使用した」場合は、どの教科等で使用したかご記入下さい。

(※ ②保健体育科で使用する場合は、本教材が取り扱っている**薬害問題は、薬物乱用防止とは全く異なる問題であることにご留意下さい。**)

- ① 社会科 ② 保健体育科 ③ 総合的な学習の時間 ④ その他( )

上記で記入した教科等の中において、どのような内容に関連して使用したかご記入ください。

- ①消費者の保護 ②人権 ③公害 ④医薬品の適正使用  
⑤エイズ・感染症の予防 ⑥薬物乱用 ⑦その他( )

2 教材の発送時期について

- ①ちょうどよい ②早すぎる ③遅すぎる

上記において、「②早すぎる」又は「③遅すぎる」場合は、その理由をご記入ください。併せて、発送の時期として適切と考えられる時期をご記入下さい。

3 指導の手引きについて

- ① 内容が適切 ② 内容が難解 ③内容が易しすぎる  
④ 使っていない ⑤ その他

上記において、「②内容が難解」、「③内容が易しすぎる」、「④使っていない」、「⑤その他」を選択された場合、改善点等をご記入ください。

4 視聴覚教材について

① 授業等で使用した(又は使用予定) ② 使用の予定はない

上記において、「①授業等で使用した(又は使用予定)」を選択された場合、どのように使用されたか、視聴覚教材を使用した感想、改善点等をご記入ください。

5 その他このテキストや同封した指導の手引きについて、ご感想・ご意見がありましたら、ご記入ください。(授業での活用方法や活用において工夫した点、また活用に当たって問題となった点などご自由にご記入ください。)

\_\_\_\_\_都道府県 \_\_\_\_\_立 \_\_\_\_\_中学校

ご担当者名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

ご協力よろしく申し上げます。

問い合わせ先：医薬品副作用被害対策室 管理係 (TEL 03-3595-2400)